

各（総合）振興局  
産業振興部長 様  
地域産業担当部長 様

農政部農村振興局事業調整課長

「工事及び業務における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に係る設計変更について」の運用について

このことについて、「工事及び業務における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に係る設計変更について」（令和2年(2020年)5月22日付け事調第264号）により通知しておりますが、積算方法等に関する運用を次のとおり定めたので、適切な事務処理をお願いします。

## 記

### 1. 適用対象

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施している又は実施する全ての工事及び業務。

### 2. 感染拡大防止対策の対象経費

#### (1) 費用の計上区分

対象とする費用例の計上については、次の区分によるものとする。

（「表1 設計変更対象項目」、「表2 現場管理費における対象経費の区分」参照）

#### 1) 共通仮設費

##### ① 宿泊費等

宿泊費、土地借り上げ代、現場へ個別移動する交通費など。

#### 2) 現場管理費

##### ① 購入費

・マスク、消毒液など消耗品。

##### ② リース料

・赤外線体温計等受注者が購入し、その後、当該工事（業務）以外での利用が可能なもの。

##### ③ その他（損料）

・リース計上することが妥当な資材の内、需給状況がひっ迫し地域内から調達できなく、購入せざるを得ない資材。または、受注者が既に所持している資材。

## (2) 積算の考え方

- ① 購入費は全額計上する、ただし、数量や単価については工事期間や規模に見合うものかどうか検討する事。
- ② 損料として積算するものは、感染拡大防止対策を措置した期間中に係る損料とし、購入価格、耐用年数及び使用期間を基に適切に算定すること。
- ③ 損料で積算する場合の耐用年数については、減価償却資産の耐用年数に関する省令の別表第一「機械及び草地以外の有形減価償却資産の耐用年数表」や別表第二「機械及び草地の耐用年数表」などを参照。

### ○設計変更の対象とする感染拡大防止対策に係る計算例

例) 工期	: 4月22日～12月10日 (233日)
計上品目	: ①マスク 10箱 購入費 2,500円/箱
	②赤外線体温計 1台 リース料 20,000円/月
	③シールド付きヘルメット 10個 購入費 10,000円/個 耐用年数5年 別表第一 (医療機器-その他のもの-その他のもの-その他のもの)
使用期間	: ③6月10日～11月10日 (154日)
金額①	: 購入費×数量 2,500円×10箱=25,000円
金額②	: リース料×使用期間 20,000円×6月=120,000円
金額③	: 購入費×(使用期間/耐用年数)×数量 10,000円×(154日/(5年×365日))×10個=8,438円
合計	: 25,000円+120,000円+8,438円 =153,438円≒153,000円 ※1,000円未満切り捨て

## (3) 留意事項

- 1) 他の制度で取り決めされているものについては計上しない。
  - ① 営繕費(送風機、空気清浄機等)に相当する感染拡大防止対策費用は、現場環境改善費の営繕関係の項目により実施すること。
  - ② 遠隔臨場等の実施による感染拡大防止対策については、「農業農村整備事業のモバイルワークに関する試行について」により取り扱うものとする。

## (4) その他

- ・すでに所有している資材に関して損料計上する場合、購入時の領収書等で費用を確認すること。

(表1)設計変更対象項目

項目	項目	番号	対象品目	対象概要	備考	
共通仮設費	対象	①	宿泊費	○運用2.(1)-1) ①宿泊費等		
		②	現事務所拡張費			
		③	現場事務所リース料(拡張分)			
		④	土地借地料(拡張分)			
	対象外	①	送風機	○現場環境改善費の営繕関係-健康関連設備及び厚生施設の項目にて計上		
		②	加湿器			
		③	空気清浄機			
		④	パーテーション			
		⑤	ミスト発生装置			
		⑥	コロナ対策看板			
	現場管理費	対象	①	マスク	○運用2.(1)-2) ①購入費 ②リース料 ③その他(損料)	○費用計上の区分は表2による
			②	消毒液		
③			冷感素材のマスク			
④			フェイスシールド			
⑤			マウスシールド			
⑥			除菌シート			
⑦			赤外線体温計			
⑧			インカム			
⑨			シールドヘルメット			
⑩			非接触式体温計			
対象外		①	パソコン(モバイルワーク)	○「農業農村整備事業のモバイルワークに関する試行について」により、計上しない		
		②	通信機器(モバイルワーク)			
		③	スピーカー(モバイルワーク)			
		④	マイク(モバイルワーク)			

(表2)現場管理費における対象経費の区分

項目	経費区分	番号	品目	耐用年数表における構造の区分					備考						
				種類	構造又は用途	細目	耐用年数								
現場管理費	購入費	①	マスク	△											
		②	消毒液												
		③	冷感素材のマスク												
		④	フェイスシールド												
		⑤	マウスシールド												
		⑥	除菌シート												
	リース料	①	赤外線体温計							器具及び備品	時計・試験機器及び測定機器	試験又は測定機器	—	—	5
		②	インカム							器具及び備品	事務機器及び通信機器	電話設備その他の通信機器	その他のもの	—	10
		③	シールドヘルメット							器具及び備品	医療機器	その他のもの	その他のもの	その他のもの	5
		④	非接触式体温計							器具及び備品	時計・試験機器及び測定機器	試験又は測定機器	—	—	5
	損料	①	赤外線体温計							器具及び備品	時計・試験機器及び測定機器	試験又は測定機器	—	—	5
		②	インカム							器具及び備品	事務機器及び通信機器	電話設備その他の通信機器	その他のもの	—	10
		③	シールドヘルメット							器具及び備品	医療機器	その他のもの	その他のもの	その他のもの	5
		④	非接触式体温計							器具及び備品	時計・試験機器及び測定機器	試験又は測定機器	—	—	5

※表に記載されていない資材については、耐用年数表及び本表を参考に計上する経費の区分を検討すること。